

◎中国で司教40人以上、教皇承認なしに叙階か

【C J C = 東京、06/27/2011】E N I ニュースによると、中国の公認カトリック教会は6月23日、教皇ベネディクト16世の承認を得ずに司教40人以上の叙階を行う、と発表した。

中国天主教（カトリック）愛国会の報道担当が、教会は40教区以上で司教選任の「緊急課題に直面している」とし、「遅滞なく」実施する計画だ、と語った。国営新華社通信が報じた。

この所、バチカンと北京政府は、暗黙のうちに司教選任に合意していた。しかし昨年11月、ヨセフ・グォ・ジンツァイ神父が教皇の承認なしに成都司教に叙階された際、バチカンは「悲しむべき話し」としている。

6月初め、漢口司教の叙階が予定されていたが、これは直前になって取り消された。その際、バチカンの声明は、「緩和された状況」を理由に破門しない、と発表した。

【キーワード】 国家と宗教、中国天主教愛国会、バチカン、叙階

◎米ニューヨーク州も同性間の結婚認める

【C J C = 東京、06/27/2011】米ニューヨーク州議会の上院で6月24日、同性カップルの結婚を認める法案が通過、アンドリュー・マーク・クオモ知事（民主党）が署名した。同性カップルに州レベルで異性婚カップルと同等の権利を付与する内容で、7月24日に発効する。同性婚を認めるのは、コネチカット、アイオワ、マサチューセッツ、ニューハンプシャー、バーモントの各州と首都ワシントンに次ぐもの。

米国では、同性愛者の権利をどこまで認めるかが、少数派の社会的な平等につながる指標とされている。人口規模が大きいニューヨーク州で同性婚が実現することで、来年の米大統領選でも、連邦レベルの問題として争点になると見られる。

ニューヨークでは26日、同性愛者ら性的少数者らの誇りをうたう毎年恒例のパレードがマンハッタンの5番街を行進した。

クオモ知事もパレードに参加。記者団に、同州の進歩的な政策は全米の手本になると語った。

CNN放送によると、カトリック教会の「合法化反対」運動を率いてきたティモシー・ドーラン大司教は、同性愛者らへのメッセージを問う質問に「皆さんを愛している。ニューヨークの人々全員の健康と幸福を祈っている」と答え、自身らの立場は「同性愛反対」ではなくて「結婚制度支持」と強調した。

【キーワード】 同性婚、教会の分裂、大統領選挙

現代世界における課題 (2)

政教分離

倫理的要請としての世俗主義

- 「世俗主義の主たる動機の一つとして、従来あまりにもしばしば宗教が焚きつけ、正当化してきた残虐性に終止符を打ちたい、との願望があったことは明白である」
(タラル・アサド『世俗の形成』131頁)。
- こころと身体の二極分化 (政教分離)
- こころ→宗教 (私的領域)
- 身体→政治・科学 (公的領域)

政教分離の近代的ジレンマ

- 宗教の倫理化・道德化
近代のヨーロッパ、アメリカ、日本における事例 (小原『宗教のポリティクス』67-72頁)。
- 近代的暴力 (戦争) を (国民) 道德化した宗教は抑止し得たのか？

多様な政教分離

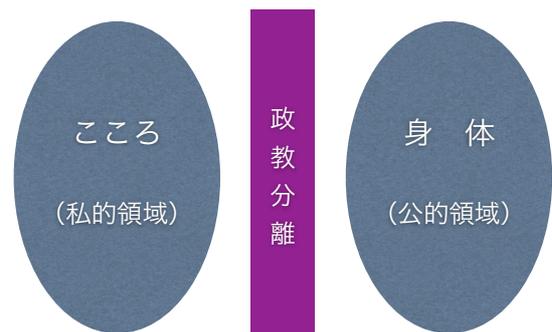
- 広義の政教分離：英国、ドイツ
- 狭義の政教分離
 - 友好的分離：アメリカ
 - 敵対的分離：フランス、トルコ

政教分離をめぐる問題

- 進化論論争 (米)
- ベールの禁止 (仏)
- 靖国問題 (日)



「こころ」の可視化



宗教復興運動
Resurgence of Religion

